

News Release

2007年10月10日

「第2回 10分で読める小説大賞」受賞作品配信スタート!

—【読書の時間】にて無料でお楽しみいただけます—

ジョルダン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:佐藤俊和)は、「第2回10分で読める小説大賞」受賞作品の配信を、ジョルダンの運営する携帯サイト【読書の時間】にて、10月10日より順次開始致します。

【大賞】	「夜露に濡れて蜘蛛」	中野拓馬	10月10日(水)配信開始
【佳作】	「一方通行のバイパス」	桜井木綿	11月14日(水)配信開始(予定)

■「10分で読める小説大賞」とは

● 《10分で読める》というコンセプトのもと、通勤・通学時間や待ち合わせの時間を利用して、携帯電話で手軽に読める短編小説を募集しました。

● 第2回となる今回は、「雨」「指輪」「兄弟／姉妹」のいずれか1つをテーマにした作品を募集し、全666作品の応募がありました。

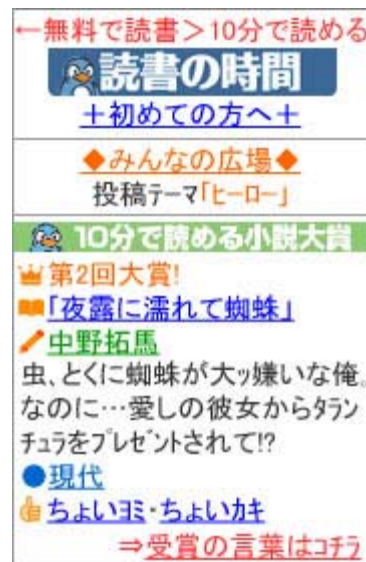
⇒ PCサイト : <http://book.jorudan.co.jp/prize/>

■【読書の時間】とは

● 【読書の時間】は、携帯電話向け経路検索&総合お出かけ情報サイト「AD乗換案内」「乗換案内NEXT」内のサービスです。《10分で読める小説》をはじめ、携帯電話で手軽に楽しめるコンテンツを、すべて無料で提供しています。

● 2007年9月末現在で、累計60作品以上の書下ろし作品を提供し、累計160万以上のアクセスがあります。

● 毎月テーマをもうけて投稿作品も募集しています。携帯電話及びPCから、メールで手軽に投稿することができます。



—無料で読書>10分で読める—
読書の時間
+初めての方へ+
◆みんなの広場◆
投稿テーマ「ヒーロー」
10分で読める小説大賞
👑第2回大賞!
📖「夜露に濡れて蜘蛛」
✍️中野拓馬
虫、とくに蜘蛛が大ッ嫌いな俺。なのに…愛しの彼女からタランチュラをプレゼントされて!?
●現代
👏ちよい玉・ちよいか
⇒受賞の言葉はコチラ



【読書の時間】
QRコード(キャリア共通)

■「AD乗換案内」「乗換案内NEXT」へのアクセス方法

- i-mode
メニューリスト→交通/地図/旅行→乗換案内→「AD乗換案内」→「乗換案内NEXT」
- EZweb
EZトップメニュー→カテゴリ検索→地図・交通・旅行→鉄道・乗換→「乗換案内」→「乗換案内NEXT」
- Yahoo!ケータイ
メニューリスト→交通・グルメ・旅行→鉄道→「乗換案内」→「乗換案内NEXT」
- ウィルコム[AIR-EDGE PHONE]
オフィシャルページ→エリア&グルメ→乗換案内→「乗換案内NEXT」
- ウィルコム[W-ZERO3]
ウィルコム公式サイト→公式サイトメニュー→交通・乗換→「乗換案内NEXT」

● 中野拓馬(なかの・たくま)プロフィール

1987年生まれ、埼玉県出身。
現在、明治大学理工学部に在籍中。
極度の方向音痴。迷子常習犯。
つい最近まで池袋を埼玉だと思っていた。
地図が読めない。
漢字が読めない。
空気が読めない。
それは全てゆとり教育のせいなのです。
「夜露に濡れて蜘蛛」で第2回〈10分で読める小説大賞〉大賞を受賞。

● 受賞の言葉

僕の高校のラグビー一部の部室には、タランチュラの死体が置いてありました。ずっと昔、蜘蛛マニアの先輩が部室に持ち込んだらしいです。
ある日、部室清掃命令が出され、タランチュラの死体の対処に全員困ってしまいました。「ゴミ箱に捨てちまえ」と僕は言ったのですが、心優しい部員の主張で、墓を作ることになりました。何故か僕も手伝うことになりました。
グラウンドの隅に小さな穴を掘り、死体を埋め、「タランチュラ、ここに眠る」と書いた板を墓標にしました。仕上げに仏教徒の後輩S君に念仏を唱えてもらいました。一件落着です。しかし、その日から変わったことがありました。
毎晩、タランチュラが襲ってくる夢を見るのです。捨てるなんて言った罰でしょうか。「Sの奴、修行が足んねえよ！ 念仏効いてねえよ！」と夢の中で何度も叫びました。散々なされました。そこで、せめてもの罪滅ぼしに、タランチュラへの追悼文を書くことにしました。それが今回の小説です。書き上げてから、悪夢を見ることはなくなりました。成仏してくれたのでしょうか。
まあ途中から嘘ですけど、これを機会に今度墓参りに行こうと思います。この度は、本当にありがとうございました。

● 選評(ジョルダン コンテンツ編集部)

蜘蛛嫌いな主人公の僕が蜘蛛好きの彼女の勘違いからタランチュラをプレゼントされる、と物語導入部分からインパクトがあり、読者を引き込む力のある作品でした。
蜘蛛に怯えながらも、好きな彼女のために蜘蛛嫌いを克服しようとタランチュラの飼育に悪戦苦闘する僕、等身大の男の子の気持ち素直に表現されていて感情移入しやすく魅力的に映りました。また、文章も端的ながら、丁寧な表現・描写が読みやすく感じます。僕の心境が変化していく過程に蜘蛛が苦手な読者でも共感してしまうほどの説得力、僕の境遇や背景のバランス、物語をうまく収束できている点が秀逸でした。この著者が書くその他の作品も見てみたいと思わせられた作品です。

■ 佳作「一方通行のバイパス」 桜井木綿

● 桜井木綿(さくらい・ゆう)プロフィール

1978年、熊本県天草市生まれ、東京在住。

好きなものはつづ貝とウニとホヤとアンキモとコマイ、肉とお米。寝る前の読書タイム。苦手なものは電車と実家に帰る時のプロペラ機と甘いもの。アイスクリームは例外。猫3匹と暮らしています。

「一方通行のバイパス」で第2回〈10分で読める小説大賞〉佳作を受賞。

● 受賞の言葉

九州の西にある小さな島で育ちました。

市町村合併で私が通った小・中学校がなくなるという噂を聞きました。少子化の影響で高校がなくなるという話も聞きました。残るは短大ですが、在籍していた学科がすでになくなっていくことをこの前知りました。

私の足跡がどんどんなくなっています。

テレビ番組だったと思うのですが、遠い未来の仮定の話。転変地異で世界が終わり、後になにかの知的生物が歴史を掘り出そうとした時に、コンピューター類の記録媒体はそれを読み込む装置がなく、本は燃えて消失してしまい、歴史を知る術は石に刻まれた文字だけになるんだとか。なるほど、実家が改装したとき、半乾きのコンクリートに野口さんがつけた足跡は、二十数年経った今もちゃんと残っています。

けれど、いざという時、大事なデータや本はすごく頑丈な金庫に入れられるのかもしれませんが。

どれが残るか分からないのであれば、全部に残しておけばいいのではないかと。

今回携帯サイトからデータで配信することにこぎつけました。私の野望はいずれ本にして、末には石に刻まれるような物語を書くことです。遠い未来に宇宙人や地底人が私の足跡を見つけてくすりとは笑う。そんな夢を見えています。

● 選評(ジョルダン コンテンツ編集部)

思春期の少年の悩みや感情が伝わってくる、体温の感じられる作品でした。少年の、好きな女の先生に対するけなげさや、興味のない女の子に対するそっけなさなど、対照的な態度がよく描けています。片田舎の中学という設定や、冬期講習から合格までという区切り方も良かったです。

ただ、少年の、女の子に対する感情・態度についてはやや辛辣で、読者が感情移入しにくい箇所もところどころ見受けられました。また、結末についても、先生が涙した理由や最後の台詞について疑問が残り、残念に感じました。

それぞれ加筆し、まとめることができればより完成度の高い作品になるのではないのでしょうか。今後を期待して、佳作に選ばせていただきました。

【本件についてのお問い合わせ先】

ジョルダン株式会社 担当:メディア事業部 望月千祥

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-1-9

TEL:03(5369)4051 / FAX:03(5369)4057 / E-mail:pc-bk@jorudan.co.jp